

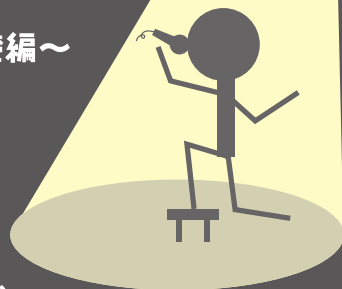
ちょっぴり

カラオケで得点アップ & 上手に歌うためのメモ

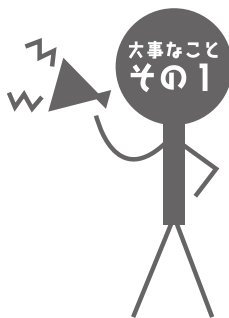
もっと上手に
歌えるんだあああ

その1～基礎編～

鼻歌では自信があったのに、カラオケではうまく歌えない方、最近の精密なカラオケ採点機能で自信喪失してしまった方等、カラオケは好きなのに引っ込み思案になってしまっている方のために、今よりカラオケ採点の得点があっぴゅ&上手にカラオケを歌うコツをtakeup! カラオケ班長が研究・実践した結果をまとめました。(根拠はありません)



大きい声



はっきり声を出さないと点数の測定ができません。歌声が小さいと聞いている人も楽しくないですよ。大きい声は恥ずかしい? 1回試すと病み付きになるくらい気持ちいいから試してみてください! マイクが10cm以上先にあると想像しながら歌うとGOOD。声に広がりが出ます。



リズム

一番簡単な正しいリズムのとり方は、体で曲に乗ること。手や足だけでも、歌っているときはどこかを曲に合わせて動かしましょう。日常で音楽をかけている時などに指先でトントン、こんな簡単なことでもリズム感はレベルアップしていきます。

大事なこと
その3

声質を知る

好きな歌を歌う、それがカラオケの醍醐味。しかし上手に歌いたい人は妥協も必要。あなたの声に似た歌手を探しましょう。今までとは打って変わって歌いやすく、上達も早くなりますよ。カラオケに自信がないお友達を誘って練習に行き、お互いの声について語り合うのもよし。

大事なこと
その4

真似る

手取り早いのは、歌の上手な人を真似ること。声の出し方や質、抑揚などをよくチェックしましょう。

もちろんあなたが好きな歌手を真似てもいいですが、身近のカラオケマスターをよく観察する方が覚えが早いです。女性は女性を、男性は男性を、特に声が似ている人を標的に!

大事なこと
その5

高い声

苦手な人が多いのがこれ。高い声の上手な出し方は「少し喉を絞めてウラ声を出す声帯の形のまま大きく息を吐く」感じ。イメージトレーニングも大事です。筆者は「私は松〇聖子、松〇聖子なのよ…」と自己暗示をかけて裏声を体得しました。ちなみにイントロのうちになり切れないと失敗します。

次回予告 その2～しゃくりとピアラートとフォールとワタン～実技と心構え編 ※不定期企画です。